



おいほま

発行：令和7年2月27日

校長 岡田 慎司

令和6年度 教育活動に関するアンケートの結果について

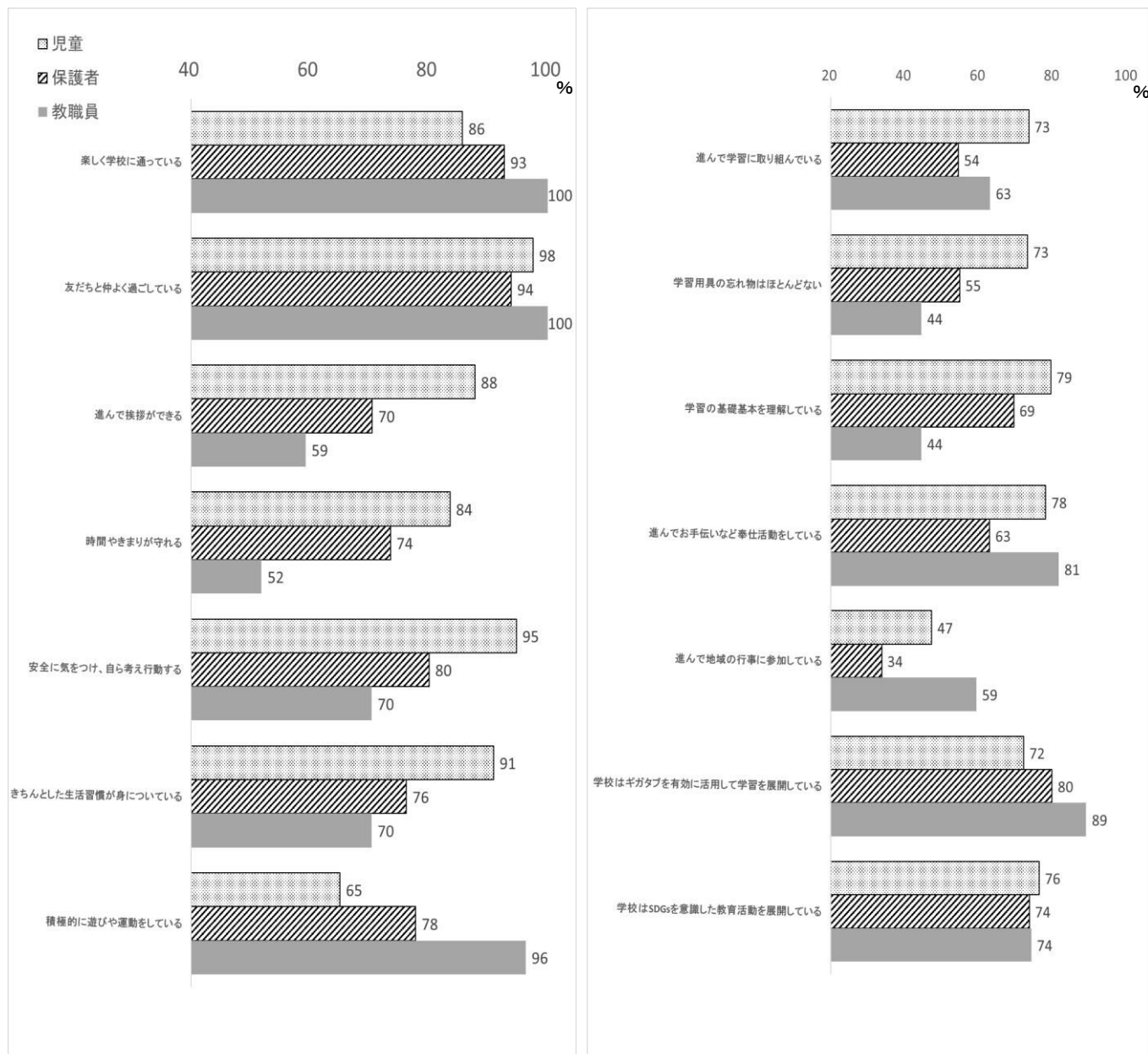
春寒の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素より本校の教育活動の推進にご支援ご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、1月に実施しました「教育活動に関するアンケート」では、多くの貴重なご意見をいただきありがとうございます。アンケートの集約が済みましたので、その結果等についてお知らせいたします。

今回頂戴したご意見を参考に、本校の学校運営に生かしてまいりますので、引き続き、ご理解とお力添えをよろしくお願いいたします。

令和6年度 児童・保護者・教職員の肯定的回答の割合

回収率 保護者：83.1% 児童：91.1% 教職員 100%



① 児童・保護者・教職員が共に高い数値の項目

- ・「楽しく学校に通っている」
- ・「友達と仲よく過ごしている」

児童が楽しく学校に通い、仲間とよりよい関係で過ごせていることがわかります。これは、学校としても最優先に目指すべきところです。

② 児童・保護者・教職員が共に低い数値の項目

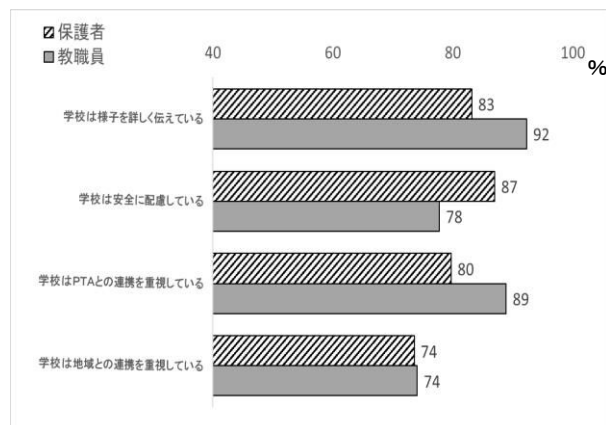
- ・「進んで地域の活動に参加している」

休日に予定されている催し物が多く、習い事や家庭の都合で予定が合わないことが原因として挙げられますが、地域とのつながりをもつよい機会なので、学校でも積極的な参加を促していきます。

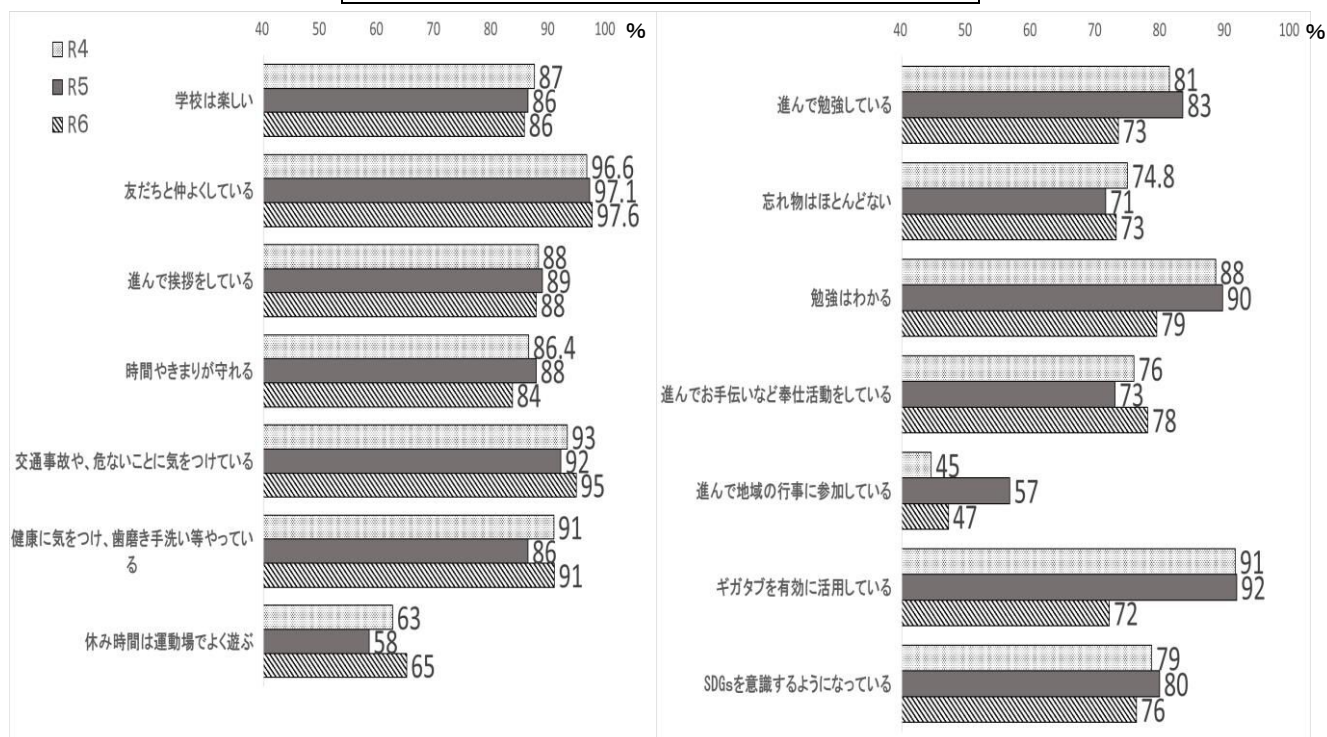
③ 児童・保護者・教職員の回答値に大きく差異がある項目

- ・「進んで挨拶ができる」・「時間やきまりが守れる」・「学習用具の忘れ物はほとんどしない」
- ・「学習の基礎・基本を理解している」

基本的な生活習慣である、「挨拶」「時間やきまり」「忘れ物」について、児童と教職員の回答に大きな差がありました（保護者は両者の中間点）。また、「学力」について同じような結果でした。いずれにおいても、児童より教職員の方が課題意識を強くもっていますが、この差異をなくすために指導の在り方を改善していく必要があります。また、生活習慣については、教職員もよい手本となるよう努めていきます。



過去3年間の肯定的回答をしている児童の割合



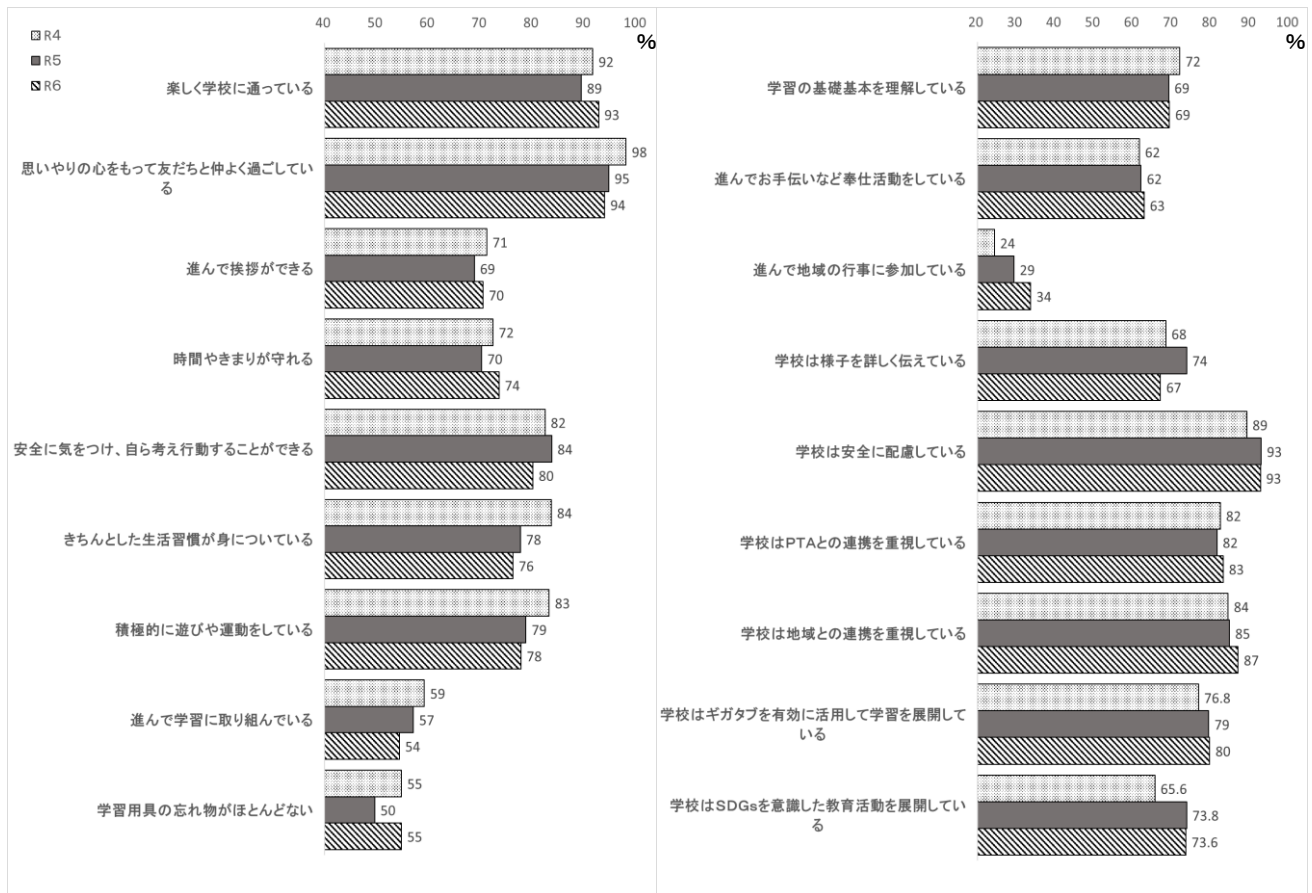
① 休み時間の過ごし方

例年、肯定的に捉える値が低いです。休み時間は、体育的な取り組みを充実させていますが、運動するというより、主体的に「遊ぶ」という意識が低いようです。児童が進んで遊びたくなるような場の設定や、学年や学級で遊ぶ時間の確保等、手立てを講じていきます。

② ギガタブの有効活用

令和4・5年度に比べ値が大きく下がっています。ギガタブを使いこなしながら学習を進められる児童が増えた一方で、自分の興味・関心等に応じて活用する場面が少ないと感じているようです。「指導の個別化」と「学習の個性化」を図りながらギガタブの活用を進めていきます。

過去3年間の肯定的回答をしている保護者の割合



① 学習への主体性

例年低い値を示していますが、少しずつ低下している傾向が見られます。家庭で学習に取り組む姿は、学校での学習と大きく関係しているの、教職員も危機感をもって授業改善に努め、家庭学習の「学び方」についても指導を継続していきます。

② 忘れ物

学校での様子を見ていると忘れ物が多いです。忘れ物をしないようにする手立てだけでなく、学習道具に対して自らが必要感をもち、自分事としての意識が高まるように指導を継続していきます。

【今後の取組（重点）】

① 友達と仲よく楽しく学校へ通うために

学校の子供たち全員が友達や教職員とよりよい関係を築き、楽しく学校に通えるように、引き続き元気で明るい学校づくりを目指します。また、時には悲しい事や苦しい事もあるかと思います。日々の児童の様子や変化にしっかりと目を向け、個々の個性に寄り添いながらコミュニケーションを密にしていきます。さらに、ふれあい相談や学校で行うアンケート時には、児童一人一人の実態把握を丁寧に行うとともに、指導や支援が必要な場合には学校で組織的に対応できるよう努めていきます。

② よりよい生活習慣と学習習慣を身に付けるために

「よく食べ、よく遊び、よく寝る」ことは、児童の成長や発達に大きな影響を与えます。これは、学校だけでなく家庭での協力がなくと成り立ちません。何事を行うにも、健康第一です。その上で、「元気な挨拶や返事をする」「時間にけじめをつける」「学習活動に主体的に取り組む」といった姿勢を向上させていきたいです。ぜひ、ご家庭でも健康を第一に考えた声かけをよろしくお願いします。

学習については、児童に主体性をもたせることが大切です。そのために、教職員一同、研究、研修を重ね授業力の向上を目指します。また、学習ツールとしてのGIGAタブの活用、学校として家庭学習を推進していくための手立てを講じていきます。

① 校内の廊下や階段、トイレにほこりや汚れが目立つ

今年度、本校の日課時程では、火曜日のロングサuntimeと木曜日課は、「児童の外遊びをする時間の確保」を優先して、掃除の時間がありませんでしたが、衛生的な環境を維持するために掃除の時間は欠かせません。次年度からは、木曜日も通常日課に戻し、掃除の時間を確保する予定です。また、学年の発達段階に合った清掃分担も検討しています。様々な箇所にも老朽化も見られますので、修繕が必要な場合には教育委員会に要請しています。

② 通学路の雑草について

通学路の雑草が生い茂り、児童の安全が確保できない場所が数か所あります。学校では、そうした箇所があった場合、行政機関に連絡し改善を求めています。もし、ご家庭でも雑草に関わらず、危険だとお気付きの場所がありましたら、直接行政機関にご連絡していただくか、学校にご相談いただければと思います。

③ 千葉県学力状況調査について

千葉県では、「期待されている目標に対して、その児童がどの程度到達したか」を知ることを主な目的として実施しています。また、自校の成果及び課題等を分析するとともに、その解決に向けた方策を教職員間で共有し、学力の向上をねらっています。実施時期については、ある程度指定されているため、そこに合わせて学習内容も終わらせなければならないのが現状です。次年度は、実施時期を2月末に変更し、少しでもゆとりをもてるようにします。また、計画的に学習を進めていくように努めていきます。

④ 学校の防犯対策について

防犯上、登校時間を除き学校の門扉を閉めるようにしています。遅刻や早退等で学校に入った後は必ず閉めるようにしてください。また、昇降口についても随時ドアは閉めるようにしていますが、開きっぱなしになっていることもあるので、定期的に職員が見回るとともに、児童に対しても開けたら閉めることを指導するようにし、学校全体で防犯意識を高めていきます。

⑤ ギガタブの持ち帰りや学習道具としての扱いについて

千葉県では、ギガタブの主体的な活用を推進しています。児童が学びの中で自分の目的や力に合わせ活用できるよう、教職員も研修を重ねています。また、同時に情報モラルや使用時間についても指導が必要になります。ご家庭でのご協力をお願いします。

ギガタブは、約1.3kgあります（低学年の教科書5冊分程度）。昔のように教科書やノートをすべて持ち帰っていないので、その分ランドセル内の重さは軽減されています。しかし、低学年の児童などにとって、ギガタブは相当な重さを感じていると思います。さらに、本校の学区は広く、登下校の距離が長い児童もいます。学校では、基本的に毎日ギガタブを持ち帰るようにしていますが、事情に応じて持ち帰る日を限定したり、連絡方法を変えたりと柔軟に対応しています。お子さんの負担が心配な時は学校にご相談ください。

⑥ 休業前後など学校と給食との始まりや終わりを同時にしてほしい

年間の給食実施回数は、千葉市で定められているところですが、その範囲内で行事等を考慮し学校裁量で実際の実施回数を設定するようになっています。また、近隣校でも、提供日数に大きな差が生じないようにしています。次年度は、今年度同様に夏、秋、冬休み前後1日は、11:30 下校となり給食を提供しない予定です。今回のご意見を参考に、令和8年度以降に向け検討していきたいと思っています。

⑦ 個人面談の日程について

面談の日程については、先日すぐーるでお伝えした通りになります。他の行事等との兼ね合いや年間2回の実施時期のバランスを考慮して期日を決定しています。ご家庭の都合等でどうしても面談日に予定が取れない場合は、学校に相談していただき面談日以外の時間でお話できればと思います。また、お子さんの様子や学習の定着など、ご心配なことがあれば、いつでも学校に様子を見に来たり、お電話等で相談したりしていただければと思います。学校としてもなるべく情報発信をして、お子さんの様子をお伝えできるように努めていきます。